

せたがや 町総連だより

第 63 号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林 4-31-9 ポライト第2ビル202

☎・FAX 03-5481-3456

発行人 会長 鈴木 賢 治

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀 江 義 之

地域のつながりをより強く、情報発信をよりスムーズに！

～令和8年度 町会・自治会への「2つの補助金制度」ご紹介～

世田谷区内5つの地域から、町会・自治会の近況をお知らせする「せたがや町総連だより」。今回は、世田谷区地域行政課長の笹本修さんをお迎えし、町総連事務局の高井浩幸、編集委員の佐藤健雄が、これからの地域活動や新たな支援制度についてお話を伺いました。

佐藤 まず改めて、「町総連」とはどのような組織なのか教えていただけますか？

高井 世田谷区内にある191の町会・自治会を束ねる組織です。地域と地域をつなぐ架け橋となり、世代間の意思疎通や行政とのやりとりをスムーズにするための手助けをしています。個別の町会では対応が難しいことも、町総連がワンストップの窓口となってサポートしています。

佐藤 この「せたがや町総連だより」の発行以外にも、さまざまな活動をされていますが、今年度はどのようなことに注力されるのでしょうか？

高井 「情報発信」に関する経費の一部を補助することに、特に力を入れていきたいと考えています。

佐藤 具体的にはどのような補助制度なのですか？

高井 大きく分けて2つあります。1つ目は「町会掲示板修繕等補助金」、2つ目は「町会デジタル活用支援補助金」です。

は約680基ありますが、それ以外に各町会が独自に維持しているものも多くあります。アンケートでは「老朽化した掲示板を建て替えたい」という要望が多く寄せられていたため、昨年度からの実現へと動ききました。

笹本 世田谷区としても、区が管理する広報板の維持はもちろんですが、町会・自治会の皆さんが独自に管理されている掲示板についてもバックアップしたいと考えております。そのため、区から町総連のこの補助事業に対して、しっかりと財政的支援（予算措置）を行っています。町会に加入されていない方にとっても、掲示板は大切な地域情報の共有ツールです。壊れたり古くなったりした掲示板ではなく、誰もが気持ちよく地域のお知らせを見られる環境を作りたい。その思いから、区も町総連の掲示板補助活動に全面協力しています。

佐藤 もう一つの「デジタル活用」の方はいかがでしょうか？

高井 従来の回覧板には「回るまでに時間がかかる」「途中で止まってしまう」「仕分けの手間が大変」などの課題がありました。

佐藤 そこでデジタルの出番ですね。LINEのオープンチャットのようにプッシュ型でパッと通知を送ったり、ホームページに掲載していつでも見られるようにしたり。これなら、先月の回覧板を見逃してしまっても後からスマホで確認できますし、何より住民の皆さんに「同時に、一瞬で」情報が伝わるメリットがあります。

高井 おっしゃる通りです。まだまだこれからの取り組みですが、すでに区内でも「デジタル回覧板」のような形で先駆けてスタートしている町会・自治会

□令和8年度 情報発信支援 補助金概要一覧

補助金名	補助内容・対象経費	補助金額・上限	申請期間
①町会掲示板修繕等補助金	町会・自治会が管理する掲示板の修繕や建替え、新設、移設の費用	かかる費用の1/2（最大60万円／各町会3基まで）	7月1日～11月30日
②町会デジタル活用支援補助金	ホームページ開設の初期費用、運営委託、レンタルサーバー代などの経費	上限9万円	7月1日～7月31日

※いずれも詳細や要件につきましては、町総連事務局までお問い合わせください。

高井 これらは、実際に町会・自治会の皆さんにとってアンケート結果から生まれた仕組みなんです。区内にある広報掲示板のうち、区が管理しているもの



掲示板修繕前



修繕後

さんもあります。そうした先進的な事例を集めて、区内の他の地域の皆さんにもどんどんご紹介をしていきたいですね。

笹本 区としても、区民の皆さんの「横のつながり」を何より重視して、誰もが住み良い環境を作りたいと考えています。そのお手伝いをさせていただきます。

高井 全国的に町会・自治会の加入率低下という厳しい現実がありますが、災害時の備え（防災）や防犯

の面において、ご近所付き合いは間違いなく命綱になります。「このまちで今、何が起きているか」という情報は、加入・非加入に関わらず、一人でも多くの住民の皆さんにお届けしたい。これからも補助金という形だけでなく、さまざまな地域の意見を集約し、皆さんにフィードバックしていきたいと考えています。

佐藤 地域の情報発信が新しく変わっていくのが楽しみです。本日はありがとうございました。

砧 地域

マンション住民だけで構成する自治会

東京テラス防災自治会 会長 北 口 節

「東京テラス」は千歳台6丁目の青山学院大学世田谷キャンパス跡地にできた、11棟1,036世帯の集合住宅です。竣工から21年、自治会を設立して11年目になります。

防災に特化した自治会というのは特殊で、「防災」のキーワードを軸に、マンションの管理組合やコミュニティ活動ボランティアと日々連携して、互いに補完しながら活動を行っています。

機関紙「あんしん通信」を通じて、東日本大震災の経験談やマンション特有の災害時の施設使用、在宅避

難時の備えなどの情報を共有しています。

活動は、災害時のマンションの対策本部開設訓練、全住戸の安否確認訓練、消防訓練（いずれも管理組合理事会と協働）、災害時の救護衛生訓練、AED訓練、高層階からの階段搬送訓練などを始めとし、コミュニティ作りとして「テラスまつり」の開催、茶話会などの集い、相談会などを手作りで実施しています。千歳中学校の避難所運営も担っています。お近くにお立ち寄りの際にはぜひお声がけください。



千歳中学校の生徒と一緒に避難所運営訓練を実施



マンションのまつりにて、マンホールトイレ用のテントを活用した「真っ暗体験コーナー」

烏山 地域

かみちょうフェス開催

烏山上町会 会長 古 馬 一 行

町会にとって会員以外の住民の方とどのように交流を進めるか、どこの町会も頭を悩ませている問題だと思っています。その問題を解決するため、何年か前に町会で話しました。その際に音楽会をやりたいという人が3人いて、これで開催できると思いました。それに加えてそれぞれの分野で得意な人に入ってもらい、最終的に7人が集まりました。烏山区民センターホールを使って4時間の開催が決まりました。心配していた出演者ですが、烏山児童館や町会内、地域の中から出演希望者も募り、

4時間の時間配分に収まりました。

今回一番良かったのは、烏山中学校の吹奏楽部に出演していただいて圧巻の演奏を披露してもらった事だと思っています。今回の成功は世田谷区の「地域の絆連携活性化補助金」を使い、町会からも一部負担して内容を充実させた事だと考えております。出演者はバラエティーに富み、4時間飽きずに見られたこと、多くの方にご来場いただいたこと、その場で町会・防災の問題を話せたことも良かったと思います。



烏山上町会ギター教室



烏山中学校吹奏楽部

世田谷地域

野沢三丁目町会

野沢三丁目町会 会長 田 中 知 継

野沢三丁目町会は、昭和36年に野沢東部照明会として創立され、昭和47年に現在の名称に変更して今日に至っています。会員数は1,800世帯弱で、その内2/3はマンション会員です。マンションは幹線道路沿いに建ち並んでいますが、一歩入ると閑静な住宅街が広がっています。

地区内には「中丸会」という高齢者クラブがあり、町会と合同で活動しています。ただし、部活動と長寿のお祝いは「中丸会」独自で行っています。町会の正

副会長は「中丸会」の正副会長を兼ねており、毎月行う役員会も合同で行っています。町会では防災活動に力を入れ、春秋各2回の防災訓練や避難所運営訓練、防災ウォーキング等を行っています。その他に防犯活動、クリーン作戦、野沢公園の花の植替え、夏休みラジオ体操、「野沢2丁目町会」との合同バス旅行、地域の委員会にも参加し、安全・安心で健康的・文化的な明るく住みよいまちづくりを目指して活動しています。



野沢公園 花の植替え



消火訓練と同時に行った炊出し訓練の様子

北 沢 地 域

代沢4丁目西町会

代沢4丁目西町会 会長 宮 下 良

世田谷区の北東部、下北沢と三軒茶屋の中間にある会員数約800戸の町会です。

当町会の活動では、特に防犯パトロールに力をいれ

ています。週に1回町会内を2～4人で防災、防犯の観点で見回ります。パトロール隊員として約20人が参加しています。町内の消火器ボックス、スタンドパイ

プ、防犯カメラの状況や、道路のごみや庭木の張り出しをチェックします。通りすがりの方から声掛けいただけるのも励みになっています。当町会でも、住民の高齢化が進んでいます。毎年春の世帯調査で町会員の方々に、緊急時の声掛けの要望をお聞きし、希望の方は防犯パトロール隊員と民生委員が訪問して、顔合わせをする活動を続けています。普段お会いすることの少ない町会の中で、横のつながりを持ち、防災の観点からも役に立つように願っています。新たに入ってきた若い家族の参加も課題です。町会に入会してよかったと思える活動を進めていきたいと思います。



支給のキャップ、ベスト、たすきを着け
防犯パトロール活動中

玉川地域

—町会存続の危機—

上用賀町会 副会長 長谷川 聡

町会にお世話になって36年、副会長を仰せつかって14年、年を追うごとに会員数は減り続け、現在町会加入率は3割程度であり、いずれ解散に至るのではと危惧しております。

加入促進活動はしているのですが難しく、お断りになる理由はいろいろあり、特に聞かれるのが役割（係り）が回ってきてもできないので…（回覧・集金、会合の活動）…若い世帯は共働き、ベテラン世帯は介護等、生活スタイルが昔と違ってきており、町会も新し

い生活スタイルに合った組織作りを考え直す時期に来ているのでは。会ってコミュニケーションを取る事が一番の安心安全なまちづくりに繋がる事は分かっていますが、会費の自動引落とし、回覧のSNS導入など改革は必要不可欠になっているようです。特に懸念されるのが、大震災時における避難所運営の自治活動の現実です。行政を含めての地域全体で考え直す事が急務と考えます。皆さんの自治活動はいかがですか。

町総連ニュース

表彰

▼令和8年6月18日 東京都町会連合会表彰
令和8年度はお二方が表彰を受けられ、
6月18日(木)に式典が行われました。

これまでのご実績に敬意を表するとともに、
今後の益々のご活躍を祈念いたします。

- ・本田 隆志 理事（交和会 会長）
- ・古馬 一行 理事（烏山上町会 会長）

編集後記

掲示板やデジタル活用の補助金制度について、世田谷区の担当課長と町総連事務局にお話を伺いました。日頃、各町会・自治会が抱える悩みには、実は共通するものがたくさんあります。だからこそ、個々で抱え込むのではなく、区内で課題を共有し、みんなで「大きな声」にしていくことが何より大切なのだと気づかされました。地域の小さな声や切実なニーズを取りこぼさず、行政へとつないでいく。そんな「パイプ役」としての町総連の存在を、とても心強く感じたインタビューでした。私たちの「まち」をさらに住みよくするために、まずは一步、お隣同士の気軽な情報共有から始めてみませんか？

編集委員 佐藤 健雄

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※二次元コード



スマートフォン等で読み取って、
簡単にホームページを見ることができます。